

## 第3期県立高等学校再編計画（当初案）に係る子どもからの意見聴取の実施結果

### 1 対象

- ・ 県内の学校に通う小学校5年生から高校3年生の個人又はグループ（友達どうし、班、学級、学年、学校）で回答を希望する子ども。
- ・ 特別支援学校、私立学校、高等専門学校の児童生徒を含む。

### 2 期間

令和7年8月6日（水）～令和7年9月12日（金）

### 3 調査項目

Q1 あなたがかよっている学校をえらんでください。

Q2 あなたが高校について関心をもっているテーマを1つえらんでください。

- (1) いわての高校教育で大切にしている考え方について
- (2) 高校の生徒数やクラスの数に関係すること
- (3) 高校のクラスの数を変更するときのきまり
- (4) 通える高校の範囲
- (5) 高校をより良くするための取組
- (6) 学校や学科の地区ごとのバランス
- (7) 盛岡地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (8) 中部地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (9) 県南地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (10) 沿岸南部地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (11) 宮古地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (12) 県北地区のこれからの県立高校の将来の姿
- (13) その他

Q3 Q2でえらんだテーマについて、意見を聞かせください。（200字以内）※最大3項目まで選択できる。

### 4 回答数

校種	回答数	意見数	意見が最も多かった項目
小学校、小学部	2,684	2,798	通える高校の範囲(630)
中学校、中学部	3,243	3,328	通える高校の範囲(703)
高等学校、高等部	1,580	1,624	高校をより良くするための取組(385)
合計	7,507	7,750	

※「長期ビジョン」策定に係る「子どもからの意見聴取」（R6.12～R7.1月実施）の意見数：5,582件

※意見聴取の結果は【参考資料】参照

### 5 各校種別の主な回答内容

小学校、小学部：「家から近い」等の通学の利便性を求める意見が多い。  
 中学校、中学部：「通いやすい」等の通学への負担軽減を望む声が多い。  
 高等学校、高等部：「施設の老朽化の改善」、「校則等の見直し」等の環境改善を求める声が多い。

※ 全体として、生徒数が多い方がいいという意見が多い。

【参考資料1】子どもからの意見聴取の結果：全体（意見数 7,750）

意見項目	小学校、小学部		中学校、中学部		高等学校、高等部		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
いわての高校教育で大切にしている考え方について	333	11.9%	479	14.4%	261	16.1%	1,073	13.8%
高校の生徒数やクラスの数に関係すること	333	11.9%	392	11.8%	243	15.0%	968	12.5%
高校のクラスの数を変更するときのきまり	61	2.2%	75	2.3%	48	3.0%	184	2.4%
通える高校の範囲	630	22.5%	703	21.1%	165	10.2%	1,498	19.3%
高校をより良くするための取組	421	15.0%	571	17.2%	385	23.7%	1,377	17.8%
学校や学科の地区ごとのバランス	137	4.9%	332	10.0%	137	8.4%	606	7.8%
盛岡地区のこれからの県立高校の将来の姿	246	8.8%	179	5.4%	126	7.8%	551	7.1%
中部地区のこれからの県立高校の将来の姿	64	2.3%	115	3.5%	18	1.1%	197	2.5%
県南地区のこれからの県立高校の将来の姿	100	3.6%	69	2.1%	45	2.8%	214	2.8%
沿岸南部地区のこれからの県立高校の将来の姿	37	1.3%	128	3.8%	50	3.1%	215	2.8%
宮古地区のこれからの県立高校の将来の姿	14	0.5%	31	0.9%	26	1.6%	71	0.9%
県北地区のこれからの県立高校の将来の姿	76	2.7%	61	1.8%	39	2.4%	176	2.3%
その他	346	12.4%	193	5.8%	81	5.0%	620	8.0%
合計	2,798		3,328		1,624		7,750	

1 小学校・小学部の特徴（全体 2,798 件）：小学校・小学部では、「通える高校の範囲」に対する関心が他の項目に比べて非常に高いことが特徴である。  
最も関心が高い項目： 通える高校の範囲：意見全体の 22.5%（630 件）を占め、全学校種の中でこの項目における意見の割合が最も高くなっている。

2 中学校・中学部の特徴（全体 3,328 件）：中学校・中学部では、全学校種の中で最も多くの意見（3,328 件）が寄せられており、小学校と同様に「通える高校の範囲」への関心が非常に高い一方で、高校の教育方針や改善策にも関心が集まっている。  
最も関心が高い項目： 通える高校の範囲：意見全体の 21.1%（703 件）を占めており、件数では全学校種の中で最も多くなっている。

3 高等学校・高等部の特徴（全体 1,624 件）：高等学校・高等部では、高校生自身が主体的に「より良くするための取組」に関心を寄せている点が最大の特徴である。総意見数は他の学校種に比べて最も少ない。  
最も関心が高い項目： 高校をより良くするための取組：意見全体の 23.7%（385 件）を占め、全学校種の中でこの項目への関心が最も高い。

【参考資料2】子どもからの意見聴取の結果 : (1) いわての高校教育で大切にしている考え方について

1 小学校、小学部の主な意見 (n=333)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的・不明確な回答	「まだわからない/考えていない」等	150	45.0%
2	情報要求/方針への関心	「どんな教育を大切にしているか詳しく知りたい」等	105	31.5%
3	将来の夢/専門分野の学習	具体的な将来の職業 (ゲーマー、トリマー、野球選手、CA、イラストレーター等) 高校で学びたい内容 (美術、料理、スポーツ、医学等)	65	19.6%
4	環境/安全/利便性/平等	「いじめのない学校」、「安心して通える学校」、「家から近い学校」、「生徒を大切にする学校」	13	3.9%

※ 高校教育の内容や方針そのものに対する**情報要求**と、**具体的な将来の夢や専門分野の学習への関心**が目立つが、回答そのものが非具体的である意見が最も多い。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=479)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/教育方針への関心	「各高校の教育方針について具体的に知りたい」、「その高校が求める生徒像を知りたい」等	210	43.8%
2	理想的な環境/生徒尊重/安全	「一人ひとりの意見を尊重する学校」、「いじめがなく、楽しく学習できる高校」等	100	20.9%
3	将来/進路/学力向上/夢の実現	「一人ひとりの夢の実現を後押ししてくれる学校」、「大学進学/就職に特化」、「学力向上」等	95	19.8%
4	非具体的・意見なし/肯定的	「特に意見はない」等	74	15.4%

※ 高校選びが目前であることから、**教育方針そのものへの具体的な関心や疑問**が最も高い割合を占めた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=261)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/方針の明確化	「何を大切にしているのか/教育方針を知りたい」、「目指す生徒像を明確にしてほしい」等	75	28.7%
2	多様性・環境・主体性	「特色、魅力ある教育活動」、「個性を大切にする」、「生徒の意見を尊重/自由な校風」 「いじめのない、安全な環境」、「教員の質の向上」、「多忙感の解消」等	75	28.7%
3	学力向上/進路/専門性	「学力向上/偏差値の上がる取組」、「就職や将来に繋がる学び」「大学進学を増やす/受験対策の充実」、「地域資源を活用する学校」等	60	23.0%
4	非具体的・意見なし	「特になし」、または肯定的な意見	40	15.3%
5	教育制度への提言	「授業時間/長期休業の調整」、「ICT教育の充実」、「具体的に高校名を挙げて統廃合への疑問」等	11	4.2%

※ **教育理念・方針**が自分たちに伝わっているか、また、その方針が**個性の尊重**や**生徒の自律**につながっているかという、より実践的・批判的な視点が含まれた意見が多い。

【参考資料3】子どもからの意見聴取の結果 : (2) 高校の生徒数やクラスの数に関係すること

1 小学校、小学部の主な意見 (n=333)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	人数の多さを希望/交流重視	「人数が多い方が楽しい/良い」、「たくさんの友達と話せる/遊べる」、「たくさん友達を作りたい」等	90	27.0%
2	人数・クラス数を知りたい	「生徒数/クラス数が気になる/知りたい」、「それぞれの高校の生徒数を知りたい」等	80	24.0%
3	少子化/統合/廃校への懸念	「生徒が減っていくのが気になる」、「高校の数が減ると困る」等	65	19.5%
4	少人数/個別対応への希望	「人数が少ない方がいい/緊張しない」、「先生が少人数だと寄り添ってくれる」等	55	16.5%
5	意見なし/その他	「意見なし」等	43	12.9%

※ 人数が多いことへの好奇心や、友達を増やしたいという願望が最も多く、次いで高校の生徒数やクラス編成に関する情報要求が続いた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=392)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	少子化/統合/廃校への懸念と対応	「生徒数減っていて心配」、「統合によって通いづらくなる」、「統合で通学が不便になる」等	120	30.6%
2	人数の多さを希望/交流を重視	「人数が多い方が楽しい」、「いろいろな人と繋がりたい」、「多い方が行事/部活が盛り上がる」	105	26.8%
3	人数・クラス数を知りたい	「高校のクラス数/人数が気になる」、「クラス減による入試倍率の上昇が心配」等	95	24.2%
4	少人数/個別対応への希望	「少人数で学習できる授業がいい」、「1クラス30人くらいがいい」等	55	14.0%
5	意見なし/その他	「意見なし」等	17	4.3%

※ 少子化が進路選択や通学環境に与える現実的な影響への懸念が最も高い割合を占めた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=243)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	生徒数減少/統合/廃校への具体的な懸念と対応	「少子化が進んでいてこれからの学校の姿が気になる」、「生徒数減ると部活や行事の規模が縮まる」、「廃校の危機」、「高校を減らす以外の解決策があるか知りたい」等	110	45.3%
2	クラス編成/人数配分の課題と提案	「1クラスの人数が多く教室が狭い/窮屈を感じる (盛岡地区の高校)」、「クラスの生徒数を減らすべき/工夫が必要」、「文系理系で人数差が大きい」等	65	26.7%
3	定員・募集人数に関する懸念	「生徒数がどのように変化するか知りたい」、「募集人数はそのままが良いのか」等	35	14.4%
4	人数の多さの利点/希望	「人数が多い方が楽しい」、「多様な意見の交流を図りたい」、「部活/行事は生徒が多い方がいい」	25	10.3%
5	意見なし/その他	「意見なし」等	8	3.3%

※生徒数の減少が学校運営 (行事、部活、学力) に与える深刻な影響と、現在のクラス規模の不満や編成への具体的提案に集中した。

【参考資料4】子どもからの意見聴取の結果 : (3) 高校のクラスの数を変更するときのきまり

1 小学校、小学部の主な意見 (n=61)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	不明確な回答/意見なし	「わからない」、「特になし」、「クラス数を変更する時の決まりを知りたい」等	28	45.9%
2	少子化/廃校/統合への懸念	「行きたい高校がなくなるのが心配」、「高校が減ると困る」等	13	21.3%
3	クラス人数調整の要望 (少人数)	「人数が少ない方が集中できる」、「全生徒の人数に応じてクラス数を変えてほしい」等	10	16.4%
4	友人関係/クラス編成の配慮	「仲が良い人ともわかれるのが嫌」、「生徒の仲を理解してクラスを組んでほしい」等	5	8.2%
5	その他 (学校生活・学習)	「自分にあった職業について学べる学校は残して欲しい」、「歴史ある学校は残してほしい」	5	8.2%

※ テーマに関する具体的な情報やルールを知りたいという関心と、クラスの数減ることによる学校の存続への不安が上位を占めた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=75)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	不明確な回答/基準への関心	「何を基準にしてクラスを決めているのか知りたい」等	25	33.3%
2	少子化/統合/受験への影響懸念	「クラスが減ると倍率が上がり大変にならないか」、「統合により通いづらくなる」等	17	22.7%
3	人数の多さ(クラス増/楽しさ)	「たくさんの人と交流できる」、「人数が多いほうがいい」、「友達を増やしたい」等	13	17.3%
4	人数調整 (少人数化/適正化)	「1クラスの人数を減らす」、「少人数で学習できるクラスがほしい」等	12	16.0%
5	人間関係/クラス編成の配慮	「仲の良い人と別れるのをなくしてほしい」、「知らない人と一緒だと心細い」等	8	10.7%

※ クラス数の変更が受験や通学環境に与える影響を懸念する声と、少子化による学校統合への具体的な疑問や反対意見が中心となった。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=48)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	不明確な回答/基準への関心	「何を基準にクラスの数が決まっているのか知りたい」等	15	31.3%
2	少子化/統合/廃校への懸念	「クラスの少数化が進み学校がなくなるのではないかと心配」等	10	20.8%
3	クラス人数/教室環境の適正化	「1クラスの人数が多く教室が狭い (盛岡地区)」、「合格者を減らしたほうがいい」等	8	16.7%
4	学力水準維持/統合反対/クラス減容認	「クラスを減らさないと学校のレベルが下がる」、「クラスを減らせば質のいい生徒を入学させられる」、「統合に反対」等	7	14.6%
5	生徒の意見尊重/編成の柔軟性	「変更する時は生徒の意見を聞いた方がいい」等	4	8.3%

※ 少子化による学校レベルの低下や、教室環境の悪化といった、学校運営に関する具体的な問題指摘と、制度や基準についての情報要求が同程度に多く見られた。

【参考資料5】子どもからの意見聴取の結果 : (4) 通える高校の範囲

1 小学校、小学部の主な意見 (n=630)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的回答	「わからない/まだ分からない」、「範囲を知りたい/どこまで通えるか気になった」等	340	54.0%
2	近い距離/通いやすさの希望	「家から近い方がいい」、「通いやすい/楽だから」、「自転車で通える距離」等	130	20.6%
3	将来の夢/専門分野の学習	「野球をするのに十分な設備がある高校」、「パティシエになりたいから料理を習いたい」等	60	9.5%
4	遠距離通学の困難さ	「遠ければ通いづらい/大変」、「親に迷惑をかけるから」、「近くにすぐ通える高校が欲しい」	50	7.9%
5	通学範囲の拡大/自由化の希望	「範囲を広げてほしい」、「好きな高校に行けたほうがいい」等	45	7.0%

※ 高校教育に対する情報不足や、近い距離を求める傾向が顕著である。約半数の回答が「わからない」「特にない」といった非具体的なもの。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=703)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	近い距離 (利便性・親の負担減)	「家から近い方がいい」、「通学が楽だから/時間が短くなる」、「遠いと親に迷惑かける」等	270	38.4%
2	受験情報/範囲に関する情報	「自分の学力で通える高校を知りたい」、「どれくらいの偏差値で行けるか」等	180	25.6%
3	学区制の緩和//範囲拡大要求	「学区外でも受験はできるところがいい」、「学区制をなくしてほしい/平等にしてほしい」等	100	14.2%
4	非具体的・意見なし	「特になし/ない」等	85	12.1%
5	遠距離通学の支援	「バスや電車を増やす/発達させるべき」、「学生寮が充実していると良い」、「交通費/電車賃が高い/補助を出してほしい」等	68	9.7%

※ 通学の身体的・経済的負担を避けたいという切実な願いと、自分の学力でどこまで行けるかという受験の情報要求が中心となった。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=165)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	近い距離/通学負担軽減/利便性	「家から近い方が通いやすい」、「通学に時間がかかるのは難しい/辛い」等	50	30.3%
2	学区制の撤廃/範囲拡大	「学区外受験制度を無くすべき」、「学区をなくす、もしくは枠をもう少し広げた方がいい」等	45	27.3%
3	交通手段/費用/インフラ支援	「バスや電車の本数を増やしてほしい」、「交通費助成/通学料金を下げてほしい」等	30	18.2%
4	意見なし/その他	「ない/特になし」等	25	15.1%
5	高校の配置/地域格差の是正	「高校が1箇所 (盛岡) に集中しすぎないようにすべき」、「配置バランスが大事」等	15	9.1%

※ 通学の現実的な負担と、制度的な公平性 (学区制) の是非に関する具体的な提言が最も大きな割合を占めた。

【参考資料6】子どもからの意見聴取の結果 : (5) 高校をより良くするための取組

1 小学校、小学部の主な意見 (n=421)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/不明確な回答	「わからない」、「特になし」等	161	38.0%
2	安全・安心な環境/いじめ対策	「いじめがない高校」、「毎日楽しい高校」、「みんなが安全に暮らせる高校」等	89	21.4%
3	生徒の意見尊重/自由化/校風	「一人一人の意見や相談を聞いてほしい」、「ルールを変えられる」、「制服なしで私服」等	45	10.7%
4	行事/交流/地域活動	「文化祭を盛り上げる」、「地域や小学校、中学校との関わりを増やす」、「ボランティア活動」	41	9.7%
5	施設・学習環境/教員の質	「きれいな校舎」、「授業の数を減らす」、「勉強をわかりやすく教えてほしい」	35	8.3%

※ 安全で楽しい学校環境と、生徒の意見を聞いてほしいという要望が中心。取り組み自体への賛同や情報要求が大きな割合を占めた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=571)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/取り組みへの関心	「どのような取り組みをしているのか知りたい」等	151	26.3%
2	校則の緩和と自由化/生徒主体	「校則の改善/自由化」、「生徒の意見を聞いてより良い学校に」等	99	17.5%
3	学習指導・進路支援・専門性	「将来の夢を追いかけられる取組」、「社会に出た時に役立つ授業」、「地域等と連携した授業」	90	15.8%
4	施設/ICT化/快適性	「古い設備を新しく建て替える」、「教室以外にもエアコン」、「遠隔授業/タブレット活用」	86	14.9%
5	安全・安心な環境/いじめ対策	「いじめをなくす/隠れたいじめに気づく取組」、「生徒が安心して通える教育」等	79	14.0%
6	非具体的意見/行事/交流	「特になし/ない」、「文化祭や体育祭等の行事の期間を長くする」、「行事を増やす」等	46	8.1%

※ 校則の見直しと学習環境のICT化や進路への繋がりを重視する意見が目立つ。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=385)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	校則の緩和と自由化/生徒主体	「校則の見直しや廃止 (メイク禁止など)」、「制服やジャージ登校の自由化」等	89	23.4%
2	施設・設備・環境の改善要求	「校舎の老朽化やトイレの改善」、「冷暖房/空調の整備 (特別教室、体育館含む)」等	86	22.1%
3	情報要求/不明確な回答	「特になし」	75	19.5%
4	学習指導・進路支援・学力向上	「授業時間の短縮 (45分統一)」、「学力向上」、「進路指導の充実」等	61	15.6%
5	学校の魅力化・発信/地域連携	「学校の魅力や良さを広める」、「その学校でしかできないことの創出」等	39	10.4%
6	安全・人間関係/心理的サポート	「いじめ/嫌がらせ対策の徹底」等	35	9.1%

※ 校則や制度の柔軟化と、老朽化した施設・設備の改善という、現在の学校生活の快適性および自己決定権に関わる要求が多い。

【参考資料7】子どもからの意見聴取の結果 : (6) 学校や学区の地区ごとのバランス

1 小学校、小学部の主な意見 (n=137)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的・意見なし	「わからない」、「特になし」等	63	43.8%
2	専門学科の設置/多様化の希望	「動物/トリマー/美容/料理などの専門学科が欲しい」、「工業や農業などをバランスよく」等	27	21.9%
3	地域格差/近さ重視・地元校存続	「家から近い高校を無くさないでほしい」、「学びたい学科が近くの地域からなくなるのは反対」	25	18.2%
4	バランス/平等性の要求	「もっとバランスを良くしたほうがいい」、「地区のバランスが取れていると思った」	22	16.1%

※ テーマに関する具体的な情報要求と、将来の夢に直結する専門学科の設置希望、そして地元から高校や学びの場がなくなることへの懸念が中心。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=332)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	地域格差/中心地集中への懸念	「特定の学科や偏差値の高い学校が一つの地区に密集しない方がいい」、「高校が沢山ある地区とない地区がある」、「盛岡地区の高校は多いが、沿岸や県北の方は大変」等	119	36.1%
2	専門性/多様な学科の要望と不足	「自分の将来に合う学科があるところに行きたい」、「学科の種類が少なく、家から遠くて進学を断念する人がいる」等	191	27.1%
3	不明確な回答/意見なし	「どんな学科があるか気になる」、「バランスを知りたい」「特になし」等	75	22.6%
4	統合・廃校への懸念/クラス編成	「学校の統合でやりたいことができなくなってしまうのではないか」、「少子化で学校が減るのは仕方がないが、高校を決めるのが難しくなる」等	47	14.2%

※ 特定の学科や高レベル校が地域（盛岡など）に集中している現状に対する不満と是正要求が最も多く、進路選択の幅と通学の負担に関する懸念が色濃い。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=137)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	地域格差/中心地集中への批判と是正	「盛岡に魅力的な高校が集まっていて、他の地区だと通学の面で諦めざるを得ない」、「長時間に及ぶ登校時間は生活や学習の大きな障害になり得る」、「盛岡地区外から通うと下宿や一人暮らしになり負担が大きい」等	65	47.5%
2	学科の多様化・地域での設置要望	「行きたい学科が近くにないと学びたいことが学べない」、「複数の学科がない場合が多い。学科を増やせば進路の道が開ける」、「工業系は十分あるが、ITや商業系の学科が少ない」、	41	29.2%
3	統合/再編への懸念と学力・伝統の維持	「再編をしすぎると、それぞれの高校の伝統がなくなってしまう」、「生徒数が減っても定員を減らさないと偏差値が下がり規律が乱れる」等	17	13.1%
4	意見なし/その他	「特に不満なし」、「バランスをよくしていけばいいと思う」等	14	10.2%

※ 地理的な不平等（盛岡集中）による通学負担と、学区制や学科の配置という制度そのものへの批判的意見が際立つ。

【参考資料8】子どもからの意見聴取の結果 : (7) 盛岡地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=246)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的回答/漠然とした賛同	「わからない」、「特になし」、「気になった」、「いいと思います」等	231	93.9%
2	楽しさ/部活/行事/環境の維持	「部活動を増やしてほしい」、「部活やいろんな行事が増えてほしい」等	5	2.0%
3	学習内容/専門性の要望	「科学/医療を学びたい」、「進学校で勉強したい」等	5	2.0%
4	距離/交通/通学の利便性	「遠いところは控えたい」、「交通機関の利便性向上」、「自転車の通学を快適に」等	3	1.1%
5	その他 (文化・地域活動の継承)	「高校の部活や文化が受け継がれてほしい」、「ベルマーク回収などの環境に良い活動」	2	1.0%

※ テーマに対する抽象的な関心や肯定的意見が圧倒的多数を占めました。具体的な要望としては、専門的な学習への希望が見られる。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=179)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的回答/その他	「将来どのような姿になるのか知りたい」、「盛岡にある高校について知りたい」、「特にない」	170	95.0%
2	学科・専門性/進路/教育内容の要望	「学びたいことが盛岡の高校にある」、「進学校を増やしてほしい」、「美容学科、スポーツ学科などを増やしてほしい」等	3	1.7%
3	交通手段/利便性/環境整備	「バスや電車がなく通学が大変」、「安全で過ごしやすい学校」	2	1.1%
4	少子化/統合/定員への懸念	「少子化によってのこれからの高校が気になる」、「盛岡地区の定員の減少が気になる」	2	1.1%
5	入試制度/その他	「特色入試は高校にだけメリットがあり生徒にはないので見直すべき」	2	1.1%

※ テーマ自体に対する情報不足や関心が圧倒的に高い割合を占めた。具体的な提言としては、進路に関わる学科の要望や交通手段の改善が見られた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=126)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的回答/その他	「自分の学校がどのようになるのか気になる」、「どうなっていくのか」、「特になし」等	102	81.0%
2	少子化/統合/存続への懸念と対応	「統合されて母校がなくなる不安」、「どうすれば高い質を保って教育を提供できるか」、「少子化の中でどう対応していくのか」等	7	5.6%
3	教育内容・学力の質向上/単位制の導入	「進学型単位制を他の高校でも取り入れてほしい」、「受験や就職で他県の学生と戦える教育」、「盛岡第一や盛岡第三の倍率を上げてレベルを上げる取組に期待」等	7	5.6%
4	交流/地域貢献/部活改革	「学校同士の交流」、「盛岡への地域貢献」、「公立高校の推薦制度見直し (部活のため)」等	6	4.8%
5	校則・制度の柔軟化/自由化	「私服化」、「時代に合わせて校則を変えていくべき」、「LGBTに対応した制服導入」等	4	3.2%

※ 盛岡地区での少子化/統合への懸念と、校則や制度の柔軟化、および教育の質の維持という具体的な課題意識に基づいた提言が目立つ。

【参考資料9】子どもからの意見聴取の結果 : (8) 中部地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=64)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的回答/情報要求	「わからない/なし/特にありません」、「中部地区の将来の姿というのが気になった」等	46	71.9%
2	地元校存続/近さ/現状維持の希望	「北上の高校が減らないでほしい」、「近くて通いやすいし、家族と一緒に過ごす時間が増やせる」、「将来、中部地方の県立高校に通おうとしているので大きな変化がないと嬉しい」等	12	18.8%
3	将来の夢/専門分野への希望	「中部地区のバレーボールが強い高校に行きたい」、「保育士になりたいので増やして欲しい」、「中部地区の学校で勉強して公正取引委員会や警察『岩手県警』にはいりたい」等	6	9.4%

※ テーマ自体が難解であることによる情報要求や非具体的回答が最も多く、具体的な要望は**地元の高校の存続と将来の夢**に関するものであった。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=115)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的回答	「将来の姿について知りたい」、「特にありません」、「中部地区のこれからの将来の姿を知りたい」、「中部地区にある高校について知りたい」等	97	84.4%
2	学科の多様化/専門性への希望	「この地区で学べることの幅を広くしてほしい」、「中部地区でいろいろな選択ができるようにしてほしい」、「工業系の学校が減ってほしくない」等	9	7.8%
3	人数/活気/増設への希望	「数を増やしていけばいいと思う」、「人数が少なくならないでほしい」等	4	3.5%
4	安全・環境/その他肯定的意見	「行きやすいと思える学校が増えてほしい」、「良くなってほしい」等	5	4.3%

※ このテーマに関する情報要求や漠然とした関心が圧倒的多数を占めた。具体的な意見としては**学科の多様性や選択肢の拡大**を求める声があった。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=18)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的回答/不明確な回答	「特になし/なし」、「どのような姿になるか気になる」等	9	50.0%
2	少子化・統合・存続への懸念/情報要求	「高校がなくなっていってしまうのか気になる」、「定員割れもする中でどうやって運営していくのか気になる」、「黒北が将来どうなるかが気になる」等	7	38.8%
3	交通手段/通学困難への対策要求	「統廃合が進むと通学が困難になる」	1	5.6%
3	地域の特徴/魅力創出の必要性	「人を呼び込んでいくために他の県とは違う特徴を教育や施設で作っていく必要がある」	1	5.6%

※ 少子化に伴う学校の運営や存続、特に**通学している母校の将来について具体的な懸念**を示す意見が最も多く寄せられた。

【参考資料 10】子どもからの意見聴取の結果 : (9) 県南地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=100)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/漠然とした回答	「わからない/なし/特になし」、「将来の姿が気になる」、「いいと思います」等	91	91%
2	安全・安心/学習内容への希望	「安心して通える学校」、「いじめ等がないほうが勉強しやすい」、「木工やプログラミングをしたい」、「部活は、みんなで協力できている部活になってほしい」等	5	5%
3	通学・地域活性化に関する要望	「少子化や人手不足が深刻な地域を活性化できるような取組」、「みんなが通いやすい場所にする」、「遠くに通うために電車をいっぱい走らせてください」等	4	4%

※ 将来の姿というテーマに対する情報不足や漠然とした関心が圧倒的多数を占める。具体的な要望としては、**安全な学校環境や地元校の存続、通学の利便性**に関するものが僅かに見られた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=69)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/漠然とした回答	「特になし/なし」、「県南地区の将来の姿について知りたい」、「県南地区がいい」等	57	82.6%
2	少子化/統合・廃校への懸念と対応	「人口が減少する中で高校どうなっていくのか」、「なるべく学校を減らさないでほしい」、「統合した場合「どうなるのか」が気になる (水沢高校と金ヶ崎高校の統合)」、行きたい高校を選べなくなることへの懸念	5	7.2%
3	専門性/特色の要望と魅力向上	「それぞれの高校の特色を強く出してほしい」(偏差値や部活以外の魅力)、「一関工業高校はバスケが強いし、もっと強くなりたい」等	4	5.8%
4	安全・環境/通学の配慮	「いじめ等がないほうが勉強しやすい」、「部活は、みんなで協力できている部活になってほしい」、「家からの距離」等	3	4.3%

※ 情報要求が大多数を占めるが、**少子化による学校統合や廃校が自分の進路に影響することへの具体的な懸念**が次に続いた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=45)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/その他	「特になし」、「少子化が進んでいるが、高校は今後どうなっていくのかが知りたい」等	39	86.6%
2	少子化/統合による存続への懸念	「自分の母校がなくなるのではないかと不安がある」、「県南地区は、定員割れの高校がほとんど」、「県南地区の高校のPRをもっとしてほしい」、「過疎化が進んでいる」等	3	6.7%
3	施設老朽化/環境・校則の改善要望	「統合して新しい校舎にしてほしい」、「校舎の老朽化 (ゴキブリ、異臭、冷房不可)」、「多様性に対応できる高校にしてほしい」等	3	6.7%

※ 少子化に伴う母校の存続に対する強い不安と、**老朽化した施設・校則の改善**という、現役生ならではの具体的な問題意識が中心であった。

【参考資料 11】子どもからの意見聴取の結果 : (10) 沿岸南部地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=37)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/漠然とした回答	「わからない」、「特にない/なし」、「将来のことを考えている」等	13	35.1%
2	地元愛/近さ/現状維持 (統合反対)	「高校は統合しないほしい」、「現状維持がいい」、「できるだけ近い高校にいきたい」、「沿岸南部地区の高校に入りたい」、「陸前高田市内の校舎がきれいなので楽しく過ごしたい」等	11	29.7%
3	楽しい学校生活/部活/環境改善	「みんなと楽しく生活したい」、「部活の種類を増やしてほしい」等	7	18.9%
4	専門性/地域特有の学習	「地元の水産業について学習」、「東日本大震災についての学習」等	6	16.2%

※ 地元の高校への希望や学校生活の楽しさを求める意見が多く、高校の将来像に関するテーマにもかかわらず、「わからない」「特にない」といった非具体的意見が約3分の1を占めた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=128)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	情報要求/非具体的意見	「特にない/なし」、「将来の姿が気になる/知りたい」、「自分が住んでいる地域だから」等	66	51.6%
2	少子化/廃校への懸念	「人がいなくなり高校も無くなっていく」、「学校数が減り将来が制限される」等	17	13.3%
3	専門学科の維持/特色要望/削減反対	「食物文化科がなくなるのをどうにかしてほしい」、「海洋システム科は無くならないほしい」、「食物文化科がなくなったら農芸科で頑張りたい」等	17	13.3%
4	統合後の進路・レベル・体制への懸念/学力向上	「統合後の進学/就職の区別」、「国公立大学に合格という考え方があってほしい」、「文武両道」、「定員割れが多い中で進学校に成績があまり良くない人の入学について」等	10	7.8%
5	交通手段/通学負担への要望	「通学が心配」、「定期代や寮費の補助を充実させるべき」等	9	7.0%
6	活気の維持/部活/地域交流	「部活の種類を増やしてほしい」、「校則の変更や制服の改善」、「地域との交流をもっと」等	9	7.0%

※ 「特にない」という回答が最も多く、具体的な要望としては、地元校の存続や学科の維持、そして通学に関する支援が多く見られた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=50)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	存続への懸念 (廃校不安)	「生徒数が目に見えて減っているのが心配」、「いつかは母校がなくなるのではないか」等	18	36.0%
2	再編反対と通学負担の懸念	「集約はやめてほしい」等	12	24.0%
3	専門学科の維持/特色教育	「海洋/家庭科の廃止は地域産業の空洞化につながる」、「地域探究科をもっと」等	8	16.0%
4	学力向上/進路支援 (寮/特進)	「沿岸と内陸の学力差をなくす取り組みが必要」、「寮などの制度を充実させるべき」、「普通科の中に特進コースや理数科を設けては」等	8	16.0%
5	自己言及/その他	「自分が通っているから」、「通学の交通手段の時間が極端に限られている」等	4	8.0%

※ 沿岸地区の生徒数減少に伴う学校の存続への不安と、統合・再編による学習機会の損失への懸念が強く表れた。

【参考資料 12】子どもからの意見聴取の結果 : (11) 宮古地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=14)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	楽しさ/部活・人数への希望	「楽しく通える」、「宮古が好きだから」、「部活や授業のレベル」、「人数が多い高校がいい」等	6	42.9%
2	地元校存続/地域への学校設置/専門性要望	「岩泉高校を残してほしい」、「宮古に農業高校が欲しい」、「宮古水産高校で学び漁師になりたい」	5	35.7%
3	非具体的回答/将来への漠然とした関心・懸念	「特にありません」、「かっこいいから」、「学校が無くなったら困る」	3	21.4%

※ 楽しさや部活動、そして地元校の維持や学校設置を望む意見が上位を占めた。このテーマも「わからない/なし」といった非具体的な回答が一定数を占めた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=31)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	不明確な回答/その他	「将来の姿について知りたい」、「特にありません」、「環境整備して欲しい」、「地元が好き」等	10	32.3%
2	専門性/特色/魅力向上	「人が引き付けられるような学科」、「学べることの幅の拡大」、「偏差値が高い学校」等	9	29.0%
3	少子化/統合・廃校への懸念・反対/存続要望	「高校の数が減少していて心配」、「高校数が減り将来が制限される」、「統合しない方がいい」、「岩泉高校が閉校になるのか気になる」等	8	25.8%
4	交通手段/通学負担軽減の要望	「スクールバスの手配」、「通学支援」等	4	12.9%

※ テーマに関する情報要求や漠然とした関心が最も多かったものの、専門学科の多様化や魅力創出に関する具体的な要望も多く見られた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=26)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	少子化/廃校への懸念・維持要望	「生徒数が減っているため」、「学校が減るのか」、「宮古の学校がなくなってほしくない」等	8	30.8%
2	非具体的回答/自己言及	「特になし/なし」、「なんとなくで選んだ」、「自分が通っているところだから」	6	23.1%
3	再編による影響/通学負担	「統合により家から遠くなり通うのが大変」、「交通の不便が出るのではないかな」等	5	19.2%
4	専門学科の維持/教育の質	「専門分野の高校を残して欲しい」、「学びの質が低下してしまわないか心配」等	3	11.5%
5	施設・環境/安全対策の要望	「津波対策をどうするのか」等	3	11.5%
6	学校数/定員調整の要望	「宮古高校の定員を減らした方が良い」等	2	7.7%

※ 少子化や統合に伴う学校の存続への強い懸念と、非具体的な意見が二大テーマとなった。また、再編による通学負担の増加や学びの質の低下を心配する声が多く見られた。

【参考資料 13】子どもからの意見聴取の結果 : (12) 県北地区のこれからの県立高校の将来の姿

1 小学校、小学部の主な意見 (n=76)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/漠然とした回答	「わからない/なし/特になし」、「難しくてよくわからない」、「将来の姿について知りたい」等	50	65.8%
2	地元校の存続/再編への意見	「県北地区の高校はなくならないでください」、「種市高校はなくなってほしくない」等	7	9.2%
3	専門分野/学科/進学への希望	「大学に進学できるような高校に入りたい」、「専門高校を増やしてほしい」等	7	9.2%
4	格差是正/環境/自由化の要望	「岩手県もほかの県と同じ受験方法にしてほしい」、「自由な時間が多いといい」等	7	9.2%
5	部活動/スポーツ/活気の維持	「バスケ部があるところ」、「野球ができるところ」等	5	6.6%

※ テーマの難しさによる「わからない/なし」**将来の夢に直結する専門分野の学習**に関するものが中心であった。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=61)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的意見/漠然とした関心	「将来の姿について知りたい」、「これからどうなるか気になる」等	35	57.4%
2	少子化/統合・廃校への懸念と反対/存続要望	「高校がなくなってほしくない」、「伊保内高校を残してほしい」、「福岡高校を残してほしい」、「県北の学校は減らないでほしい」、「小規模だとしても残して欲しい」等	10	16.4%
3	専門性/進学校の要望	「県北地区に新しく進学校を建ててほしい」、「食物系列でまなびたい」等	7	11.5%
4	統合・再編に関する懸念/提言 (合併/学科減)	「久慈高校と久慈翔北高校を統合して校舎を分けて行った方がよい」、「系列を減らすとその系列で学びたい人が学べなくなる」等	5	8.2%
5	環境改善/交流/その他提言	「他校との交流を増す」、「福岡高校の校舎をきれいにしてほしい」等	4	6.6%

※ 将来の姿そのものへの情報要求や非具体的回答が半数以上を占めたが、**具体的な学校の統合や廃校への反対意見**も多く寄せられた。

3 高等学校、高等部の主な意見 (n=39)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	学校存続への懸念と情報要求	「学校がほとんど無くなってしまわないか心配」等	19	48.7%
2	地域校の存続/維持要望 (高校・学科名含む)	「一つに集約せず、分校として町に一つの高校を維持し続けてほしい」、「少しでも多くの高校を残して欲しい」、「海洋開発科を無くして欲しくない」等	6	15.4%
3	非具体的/意見なし/その他	「特にありません/なし」、自分の出身だから、沿岸だから	5	12.8%
4	学力・教育の質向上/格差是正/入試制度の見直し	「盛岡との教育格差をなくしてほしい」、「定員割れだからと諦めず高等教育機関として相応しい教育をしてほしい」、「入学制度を工夫すべき」、「学区外制の枠を見直すべき」等	5	12.8%
5	施設改善/魅力向上/生徒確保策	「福岡高校の校舎が限界のため建て替え」、「いわて留学を実施すべき」等	4	10.3%

※ 県北地区特有の少子化による**学校の存続への強い懸念**と、盛岡地区との教育格差の是正に関する具体的な提言が上位を占めた。

【参考資料 14】子どもからの意見聴取の結果 : (13) その他

1 小学校、小学部の主な意見 (n=346)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的・意見なし/	「わからない」、「特にない」、「まだ考えていません」、「難しくてよくわからない」等	154	44.5%
2	部活動の強さ/種類/活発さ	「サッカーが強い高校に行きたい」、「野球ができる高校」、「スポーツ強豪校」等	77	22.3%
3	将来の夢/専門的な学科	「パティシエになれる学科」、「農業、工業を学びたい」、「デザイナーに関係する授業」等	54	15.6%
4	校則・自由化/制服/学習柔軟性	「制服可愛いところ」、「校則が厳しくない高校がいい」、「時間や場所を決められる学校」等	23	6.6%
5	県外/他校への関心/進学目的	「県外の学校に行きたい」、「仙台育英高等学校に行きたい」、「花巻東高校に入りたい」等	18	5.2%
6	高校の統合/学校数への意見	「高校を増やして欲しい」、「生徒数が少ない高校は統合させた方がいい」等	11	3.2%
7	安全・いじめ/人間関係/環境	「いじめがない高校がいい」、「安心して通学できる楽しい学校」等	9	2.6%

※ 高校教育に対する情報不足や関心のなさ、および具体的な**将来の夢（部活・職業）に関する情報要求**が上位を占めた。

2 中学校、中学部の主な意見 (n=193)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的・意見なし/不明確	「特にない/なし」、「よくわからない」、「もっと高校について知りたい」等	60	31.1%
2	部活動の強さ/種類/活発さ	「部活で決めたい」、「部活の強さ。全国レベル」、「部活動に興味がある」等	27	14.0%
3	将来/専門性/学習内容の要望/進路支援	「自分の進みたいことを全力でサポートしてくれる場所」、「大学に進学できる学校を増やしてほしい」、「声優科などの学科を多くして欲しい」、「天文学の専門学科があればいい」等	27	14.0%
4	施設・環境/安全/人間関係	「校舎を新しくしたほうがいい」、「人間関係が良好な場所」、「トイレのきれいさ」、「生徒一人一人の心のケアや意見を聞いてくれる先生」等	16	8.3%
5	入試制度/学力レベル/偏差値	「何点でどこの高校に入れるのリアルな数字を知りたい」、「推薦をなくすのは未来を築く人の夢を奪っている」、「複数の高校を受験できる制度」等	12	6.2%
6	校則・制度の柔軟化/自由化/服装	校則を緩くしてほしい、「意味の無い校則の見直し」、「リボンとネクタイ、ズボンとスカートから好きな組み合わせを選べるようにしてほしい」等	10	5.2%
7	交通/通学負担/距離の改善	「登下校が大変な人と大変じゃない人の差をなくしてほしい」、「学校を近くして欲しい」、「経済的に心配になる」(交通費、送迎)等	10	5.2%
8	学校統合/生徒数減少への懸念	「高校の数を減らさないでほしい」、「統廃合により、それぞれの学校の特徴的な学科がなくなり、ますます生徒数減少が進行してしまうのではないか」、「統合をしないで欲しい」等	10	5.2%
9	県外校/他校への関心	「県外の高校について関心がある」、「宮城/八戸の高校で部活を頑張りたい」等	8	4.1%

※ この自由記入欄においても「特にない/わからない」という非具体的回答が最も多くを占めた。具体的な**関心事**としては、**将来の進路に関する情報要求**が高い傾向が見られた。

### 3 高等学校、高等部の主な意見 (n=81)

順位	意見	主な意見内容の例 (意見の多い順)	意見数	割合
1	非具体的・意見なし/情報要求	「特になし/なし」、「何も知らないから」、「意見はまとまっていません」等	27	33.3%
2	校則・服装・制度の自由化/提言	「髪の毛に関する校則はいらない」、「髪染めとかピアスを全面OKにして欲しい」、「服装の規則が緩くなって欲しい」、「バイクの免許を取らせて欲しい」、「バイトを許可」等	11	13.6%
3	学科/教育内容/進路 (専門性 質)	「それぞれの高校から科をなくしていくのはやめてほしい」、「学力の向上」、「大学のような専門的な自分の学びたいことを学びたい」等	11	13.6%
4	その他 (地元配慮, 心理士, 教師の質など)	「県外からの留学生のお世話をする前に地元の子に手をまわし、大事にするべき」、「先生の質が悪い」、「心理士やカウンセラーを重要視する必要がある。」等	8	9.9%
5	交通/通学負担の軽減	「家で勉強できる時間が人によって異なっていること」、「下校時間のバスの本数をもう少し増やして欲しい」、「バス通学が容易になってほしい」等	7	8.6%
6	学校統合/廃校/少子化への懸念	「高校統合がある中でこれからどんな風に岩手県の高校が変わっていくのか気になる」、「自分が通っている高校が無くなってしまふのは嫌」、「廃校後の使用方法が気になる」等	7	8.6%
7	部活動/行事/交流	「高校同士の関わりを増やしたらいいと思う」、「部活動の在り方はどのように変化するのか気になる」、「行事が盛り上がるには生徒数が多くないと」等	6	7.4%
8	施設・設備/環境改善	「学校を綺麗にしてほしい。トイレが臭うし、狭い」、「設備が綺麗であるか」等	2	2.5%
9	休暇/遠隔授業	「長期休暇なのに短い」、「遠隔授業とか入れてもいいと思う」等	2	2.5%

※ 「特になし/関心がない」という意見と、**校則や服装などの制度的な自由化を求める具体的な意見**が上位を占めた。